（様式１－表）　　令和７年度　特色ある学校づくり推進事業　計画書

学校番号	127	豊田市立　藤岡南中　学校	代表　　加藤　幸晴

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ、h：伝統文化、iその他（　）】から選ぶ。

テーマ	自ら地域につながり、地域とともに生きる	分野	b	地域連携
	サブテーマ　　主体的に人と関わり、地域のために啓発する生徒の育成	i(その他）は分野を右欄に記入		
学校づくりの視点（ねらい）	本校では目指す生徒像を「広い視野をもち、よき地球市民として主体的に行動できる生徒」としている。生徒たちはSDGｓについて学びを深めながら、自分たちで決めた目標に対して見通しをもち、誰もが気持ちよく過ごせるように委員会活動などの役割に責任をもって活動している。その中で、自分たちを取り巻く環境について「現状に対して自分たちにできることはないのか」「こんな工夫をしてみたらどうだろうか」と新たな問題意識をもったり、解決に意欲的な姿を見せたりしてきた。 自分たちにできることや相手意識を高めた活動内容を生徒が考えることで、より意欲的かつ実効的な活動を実施する。日常の生活や学校行事において、目的意識をもって主体的に生徒が活動する姿を学校ホームページ等を活用して公開・発信し、保護者や地域の教育活動への理解を図る。「地域とともに生きる」を合言葉にして、地域と関わり合いながら、環境美化、地域行事のボランティアなどの貢献活動に取り組む。このために、校内整備員の配置によって、校内の環境整備及びボランティアの支援を計画的に実行していく。			
活動内容・計画	「主体的に学ぶ生徒の育成」を進めていくために、学校で学び、身につけた力を活かす場面を設定している。校内での活動だけでなく、地域合同防災フェスタや地域共催藤岡南ふれあいフェスティバルなどの地域行事へ参加する中で、自分たちが調べたことを地域に提案したり、啓発したりする機会となっている。また、３年生の有志ボランティアが育てた花を地域の公共施設に寄贈するなどの貢献活動を継続することで、生徒は地域のために働くことのすばらしさを実感し、地域の人や環境へ視野を広げられる。 地域との関わりとしては、地域学校共働本部の協力を得てフジバカマの育成を継続し、海を渡る蝶アサギマダラを飛来させようと計画している。また、地元の西中山川にホタルが多く飛来できるような活動も計画している。更に、地域の方からこの地域の自然や中学生に期待する思いについて話してもらう場面を設定し、生徒たちが地域の環境や歴史を自分事として捉えるように計画している。４７災害を経験した地域の方々から話を聞いたり、現在の地形と過去の写真を見比べたり、防災対策について調べる中で、生徒たちは災害時に自分が地域の力になれる理由を語り始めた。こうした取組を通して、郷土に対する愛着が高まり、地域に貢献しようとする心が育つと考える。 地域共催藤岡南ふれあいフェスティバルでは、ＳＤＧｓについて調べたことをもとに地域企業と連携し、フードロス問題解消への具体的な提言を行ったり、生徒達が考えた地域との温かなふれあいの場となるブースを運営したりする中で、主体的に活動することが地域の方の心を動かし、行動の変容を促すことを生徒自身が実感する機会となっている。 ５月　地域合同防災フェスタ（地域と合同開催） ７月　カワニナ放流（ホタル飛翔活動） １０月　地域共催藤岡南ふれあいフェスティバル（地域と合同開催） アサギマダラのマーキング（地域の方と連携） ２月　３年生地域貢献活動（地域の公共施設等へ育てた花を寄贈） ３月　フジバカマ園の造成（地域の方と連携）			
補助員配置	・校内整備員			
実績・期待される効果	令和元度末から、校地内にフジバカマ園を造成し、育成を継続している。フジバカマ園を含め、アサギマダラを飛来させようと環境委員会を中心とした生徒ボランティアによるフジバカマの育成・管理を継続している。 また、公務手と連携した校内緑化整備に生徒ボランティアが関わる姿は、ＳＤＧｓ学習で根付いた「自分たちでよりよい環境を整えていく」意識が、行動となるきっかけにもなっている。 目に見える形で自分たちの活動による成果を出すことで、環境をより幅広い視野で捉え、問題点を見つけたり解決策を実行したりできるようになると考えている。また、仲間や地域の方々に自ら発信したり、他者からの支援依頼に応じたりするなど、環境を「私たちの環境」として捉えられるようになると期待している。			
検証方法	・生徒の様子を直接観察するとともに、ともに活動した地域の方（地域ボランティア）から話を聞く。 ・学校行事等で来校された保護者や地域の方からの声を直接聞いたり、学校評価アンケートを通して保護者の評価を確認したりする。			